

次世代電力系統ワーキンググループの設置について

令和 7 年 1 月 23 日

資源エネルギー庁

- 2014 年 10 月に、再エネ設備の系統接続保留問題への対策を講じることを目的として、新エネルギー小委員会の下に、「系統ワーキンググループ」が設置された。その後、2019 年 10 月には、再エネ政策のみならず、電力ネットワーク政策の観点も踏まえた総合的な審議を行うため、電力・ガス基本政策小委員会との合同ワーキンググループとして位置付けられた。
- 同ワーキンググループでは、これまで、再エネの出力制御対策や系統混雑に関する課題への対応等について、電源・供給側に重点を置いた議論を実施してきたが、今後は、供給面のみならず蓄電池や DR 等の新たなリソースを活用した対策が益々重要となっている。さらには、系統への再エネ受入れについての議論に加え、データセンターや半導体工場等の大規模需要の立地を見据えた送配電分野の対応についても議論を進めることが必要となっている。
- こうした状況を踏まえ、電源・供給側の制度の在り方に加え、需要側のリソース活用や系統接続等、幅広く電力系統の次世代化に関する議論を行うことを目的に、系統ワーキンググループを発展的に改組し、新たに「次世代電力系統ワーキンググループ」を設置することとする。
- なお、同ワーキンググループは、再生可能エネルギー大量導入・次世代電力ネットワーク小委員会及び電力・ガス基本政策小委員会の下に設置する。